



実践! グッドコーチング

ジュニア指導編

ハラスメントのないスポーツ指導のために

[制作協力] スポーツ庁 / 日本スポーツ協会 [法律監修] 日本スポーツ法学会

[執筆協力] 星野邦夫・土屋裕睦 [編者] PHP研究所

A5判・並製・64ページ / 価格660円(税込)

今回ご案内の書籍は書店等での一般市販はいたしておりません。

NHKニュース・読売新聞などでも報道され 4万人の指導者が学んだテキストの第2弾!

暴力・パワハラ事案の多くを占める、小学生～高校生指導に焦点をあてたケースと指導法をわかりやすく紹介。研修やグループワーク、自己啓発の場で多くを学べる指導者必携の書!

本書の内容

第1部 基本編

- グッドプレーヤー像・グッドコーチ像
- プレーヤーズセンタードなコーチ
- ハラスメントのないコーチング

第2部 ケーススタディー編

- 練習中の不適切なプレーを注意せず容認した
- 気に入くない保護者に練習日・場所をSNSで伝えない
- 「おい、〇〇」と子どもたち同士で使っているあだ名で呼んだ
- 集中力がないプレーヤーに「本当に聞いているのか」と怒鳴る
- 「あいつはクズだ!」など審判の悪口をSNSで発信した
- 車でタバコを吸いながら子どもたちを送り迎え
- 親戚の結婚式なのにトレーニングを休ませない
- プレーヤーの顔めがけてボールを思いっきり投げつけた
- 保護者も容認しているから、ゲンコツくらいはいいだろう
- 地域スポーツクラブの会費を一時的に私的に使った
- 他のプレーヤーがいる中で「今日は生理なのか?」と聞いた
- 身体に触れてフォームを矯正した
- 公式には休養日なのに、民間施設でこっそり練習
- 寒空の中、「立って見てろ」と薄着のまま立たせた
- ハードトレーニングに対する保護者の批判に、過剰反応だと無視した
- 不適切な慣習を変えようとしないう
- 他のプレーヤーの前で「外国人だからわからないよ」
- このポジションをやりたいと、あなたが言ったよね?
- おれの言うことだけを聞いていればいいんだ!
- キャプテンに部員を殴らせた
- ケガをしているのに本人と保護者の要望で試合に出場させた
- 本人の意向を無視して、進学の話を進めた
- 重要な大会が近いので、授業より練習を優先させた

※内容は変更になる場合がございます。

CASE 2 プレーヤーの顔めがけてボールを思いっきり投げつけた



小学生クラブチームのコーチのBさんは、先の試合で連携の失敗から大敗した反省をふまえて、トレーニングではチームプレーの反響に多くの時間を割きました。ところが、プレーヤーの1人が試合と同じミスを繰り返して、指示したとおりにできません。Bさんはイライラしてききました。

「何で思ったらわかるのよ。ちゃんとやりなさい!」
「はい!」という返事が返ってくるものの、相変わらずミスの連続です。とうとう我慢の限界を超えたBさんは、「もうやめた!」と大声を上げると同時に、手にしていたボールを、そのプレーヤーの顔めがけて至近距離から投げつけました。そんなに強く投げつけたつもりはなかったのですが、その子はよけられず、ボールをまともに顔に受けて痛く泣き出しました。鼻と鼻血が少し出ています。
応急手当をしましたが、翌日、その子の保護者から「コーチに暴力をふるわれた」とチームにクレームが入り、Bさんは謹慎を命じられました。

チェックしてみよう! プレーヤーの顔めがけてボールを思いっきり投げつけた

パワハラチェック表	評価
① 暴行・脅迫・脅迫、名誉毀損など刑法に触れるような悪戯をしませんか	○
② 人格否定や体罰など人間としての尊厳を侵害する悪戯をしませんか	(○)
③ 地位や立場など人間関係の優位性が背景にありますか	○
④ 指導や教育の適正な範囲を超えていますか	○
⑤ 回数や程度は軽微ではありませんか	△
⑥ 相手に身体的・精神的苦痛を与えていますか	○
⑦ 周りのプレーヤーが驚愕するなど、活動環境を悪化させていませんか	○
合計	悪化傾向(△以下)

人間は感情の生き物とはいえ、怒りに任せてボールを投げつけ、プレーヤーにケガをさせてしまう行為は「用法に触れるレベル」に当たり、傷害罪にも問われかねません。

残念ながら、スポーツ指導の現場では、そのスポーツで使用するボールなどの道具を用いた暴力が行われてきました。トレーニングの過程や延長の中で、それらの道具を用いる形で指導・注意しているつもりが、本ケースのように、「至近距離」から「顔面」を狙うというような不適切な行為になっている場合があります。また、椅子などに感情をぶつけて、罵る、殴り投げついたりといったような、プレーヤーに直接危害を加えようとするケースでも、そういった行為がプレーヤーに恐怖感を与え、容認されています。指導者の手近になる道具だからといって、それらを不適切に使用することは許されることはありません。道具を大切にすることを教えることも指導者の大事な役割です。

グッドコーチになるために

一生懸命指導している、思わずカッとなることもあるでしょう。怒りの感情は誰でも生じるものです。そこで、アンガーマネジメントのスキルを身に付けましょう。カッとなったら勢いに任せて行動せず、まず5秒間、自分に向き合ってください。深呼吸してもいいし、怒りの感情を紙に吐き出すのもいいです。

※掲載のイラスト・文章などは変更になります。

「実践! グッドコーチング」研修 講師派遣のご案内

『実践! グッドコーチング』をテキストとして活用した、暴力・パワハラ防止のための研修の講師を派遣します。

大好評!

『実践! グッドコーチング』(第1弾) スポーツ現場で起こりうるパワハラ事例から指導者のあるべき姿を学べる決定版! まだご購入されていない方は是非第2弾とのセットで購入を!

書籍のご注文、研修のお問い合わせ、ご依頼は以下のURLへアクセス

※第1弾の試し読みができます

<https://www.php.co.jp/goodcoaching/>



お問い合わせ先

株式会社PHP研究所 企画普及部(担当: 茂原・福原)

〒601-8411 京都市南区西九条北ノ内町11 TEL 075-681-8733 FAX 075-681-2656